



総合的な探究の時間の名称：「Cross Border」（越境という意味）
以下、CBと略す。

（Ⅰ）総合的な探究の時間（CB）の目的



一般的な「教科学習」は・・・

- 教科書があり、学ぶものが決まっていて、授業で「習う」もの。
- 生徒は教師の話す内容をしっかり理解し、正しいことを覚えること。
→ 答えのある学習
- 学習する目的は成績や入試のために、テストが終わったら忘れてしまう人も…？



Q:「探究」とは？

普段の生活や社会の中の“答えのない問い”に対して、生徒自らが「問い」を立て、情報を集め、意見を交わし、課題解決を探っていく授業です。

まずは好きなこと、興味のあることからでいい。

興味・関心事と、社会との関わりの中から「問い」を立て、“主体的”に突き進めていく。そういう意味で、探究は学び甲斐のある授業になると思います。

また本校では、各教科で学んだ知識や技能を探究の授業で活用できるようにしています。

Q:なぜ「探究」を学ぶのか？(目的)

生徒には、自分に自信をもって主体的に行動できる大人になって欲しいと考えています。教育は自己の中で完結するものではなく、他者や社会との様々な関わりを通して、社会性や人間性を育み、自己の生き方や在り方を考えることができます。

本校の探究では、多様な経験を持つ生徒同士や地域の専門家との関わりを通して、自己や社会の様々な課題の解決策を探りながら、

- ・何のために学ぶのか？(学ぶ目的)
- ・自分とはいったい何者か？(自己理解)
- ・自分はどうしたいのか？(自己の考え、実践)

について明らかにすることが目的です。

(2) 総合的な探究の時間(CB)の目標

探究の見方・考え方を働かせ、自己や社会の諸問題に関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)自己や社会の諸課題に関わる探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自己や社会の諸課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2)教科の枠を越えた探究的な学びを通して、自己と社会の関わりから問いを立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3)自己や社会に関わるマイプロジェクト探究に主体的に取り組むとともに、地域や友人など周囲と協働しながら、新しい価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

(3) 総合的な探究の時間 (CB) の心構え

【Cross Border】

自分の枠を越えろ



●本校の生徒が越えるべき “4つの枠”

<p>① 自分の 枠</p>	<p>【定義】：自分には無理かもとってしまう心の制限や自分の限界。個人的思い込み。 【越え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・高校で新しいことに挑戦する。やってみることで見えなかった価値に気づく。・失敗してもいい、失敗は学びの機会ととらえ、成長の糧とみなす。・本校ではさまざまな経験や考えを持った生徒が、共に学び、尊重し合う。どのようなことに興味・関心を持ち、どのような「問い」を立てるのか、“一人ひとりが異なって当たり前”であり、自分の考えを持つ姿勢を大切にする。・個人で考えるだけでなく、他者と共に考えたり、振り返ったりすることで、自己を客観的に見つめ、新たな視点、新たな考えに気づく。
<p>② 常識の 枠</p>	<p>【定義】：みんなが当たり前だと考える世間一般のルールや考え方。固定観念。 【越え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・得られた情報や状況に疑問をもち、本当にこれは正しいのか？そもそもこれはどういうことか？と深く考え、それを確かめる。(批判的思考)・第三者視点を意識しながら客観的に物事を見ると、見え方に違いが出ることがある。既存の発想や枠組みにとらわれず、新しい解決策やアイデアを考える。
<p>③ 教科の 枠</p>	<p>【定義】：数学は数学、地理は地理というふうに教科を区切って考えること。 【越え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・実社会の課題は教科の枠を越えて存在する。課題を解決するためには教科で学んだ知識や技能が必要となる。CBの授業の中でそれらをどう使うか考える。・本校で実施するグループ探究やマイプロジェクトで、実際の課題に直面し、複数の教科の知識や技能が役立つことに気づく。
<p>④ 学校の 枠</p>	<p>【定義】：学習を学校の中だけで完結させること。 【越え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校で設定する大人との交流や、地域のイベント・ボランティアに参加する。地域社会にも様々なロールモデルとなる大人が多く、高校生に期待している。人脈が広がれば、自己肯定感や地域への貢献意識も上がる。・フィールドワーク等を通し、実社会に起こる本物の課題に直面しよう。・オンラインで遠方の人々となつながら。学びの場は国境をも越え、世界に広がる。・課題解決＝ビジネスチャンスととらえ高校生として起業する。

(4) コンピテンシー（資質・能力）と評価観点



COMPETENCY
身に付けたい力

●本校の生徒が探究で身に付けたい力

コンピテンシー		主な評価観点
興味・関心力	①探究活動を自分の興味・関心や進路に結びつけて考えることができる。 ②教科の枠を越え、探究と他教科の学習の関連を見出すことができる。 ③実生活や社会と自己との中にある課題を発見し、解決しようとする意欲を持つことができる。	学びに向かう力 人間性等
課題解決力	④常識や与えられた情報を鵜呑みにせず、それらに対して問いを立て、課題を明らかにできる。(批判的思考力) ⑤既存の発想や枠組みにとらわれず、さらなる発展や新しい解決方法を考えようとする事ができる。(創造力)	思考力 判断力 表現力
計画力	⑥必要な情報や資料を得るための方法を計画し、行動することができる。(計画実行力) ⑦活動を振り返ることで、物事の状況や自分の成長を理解し、今後の見通しを立てることができる。(振り返る力)	思考力 判断力 表現力
主体的に考える力	⑧言われたことだけでなく、自らやるべきことを考え、積極的に実行することができる。(主体的行動) ⑨課題について自分事として捉え、当事者意識をもって考えることができる。(当事者意識)	学びに向かう力 人間性等
総合的に考える力	⑩必要な情報を正確かつ効率的に収集し、分析しようとする事ができる。(情報収集分析力) ⑪客観的な根拠に基づいて、因果関係などを示したうえで主張を組み立てることができる。(論理的思考力)	思考力 判断力 表現力
コミュニケーション力	⑫相手に理解してもらえるように、自分の言葉でまとめ、自信をもって表現することができる。(表現力) ⑬自分の考えを他者と共有するとともに、相手の考えにも耳を傾け、そこから学ぶことができる。(傾聴力)	学びに向かう力 人間性等
他者と協働する力	⑭相手の意見や立場を尊重することができる。(受容性) ⑮チームで活動をする時、自分がどのような役割を果たすべきかを考え行動することができる。(責任性) ⑯地域の方々から対話的・協働的に学び、自分事として社会とのつながりや関わりに関心を持つことができる。(社会貢献意識)	学びに向かう力 人間性等

※ 評価観点の「知識及び技能」は、諸課題に関する知識や概念の理解、探究の意義や価値の理解について総合的に評価する。

(5) 活動内容

<入学年次> 探究の基礎固め

地域を通して自分自身の強みを知る。問いを立てることから主体的に探究する。

時 期	内 容	コンピテンシー
4-5 月	<u>学びに向かう関係・意識づくり</u> 新しい高校で探究や各教科の学習にどのように臨めばよいのか、どのような高校生を目指したいのかについて考え、探究の基本的な手法を仲間と対話的・協働的に学ぶ。	興味・関心力 主体的に考える力 コミュニケーション力
6-7 月	<u>自己探究</u> 学びに向かう関係・意識づくりを通し、高校生としての新たな決意を固め、発表する。	興味・関心力 主体的に考える力 コミュニケーション力
7-9 月	<u>ちょこプロ</u> 好きなことを1週間のできるアクションを計画、実践し発表。 探究の基本サイクル（計画→仮説→実践→検証）を意識。 ①自分のやってみたいこと②誰かを喜ばせること③普段行わないことを条件とする。	計画力 主体的に考える力
9-1 月	<u>地域の魅力発信プロジェクト</u> 生徒がグループで島田市の商店や企業等を取材し、その魅力をどのようにPRすればよいかを考え、実践する。 地域の方々との交流を通して地域の課題を自分事としてとらえ、探究の基礎的な手法を対話的・協働的に学ぶ。	課題解決力 計画力 主体的に考える力 総合的に考える力 他者と協働する力 コミュニケーション力
2-3 月	<u>マイスピーチ</u> 1年の総括をレポートにまとめ、3部合同発表をする。	総合的に考える力 コミュニケーション力

※ 県内外の探究発表大会に挑戦する。

※ III部については共通の目標をもとに、これに準ずる探究を進める。

<中間年次> 探究テーマの設定、「マイプロジェクト」の実施

時 期	内 容	コンピテンシー
4-5 月	探究テーマの設定	興味関心力
6-7 月	リサーチクエスチョンを導く 先行研究・情報収集、仮説の設定 外部人材への相談（仮説について助言） アクション1	課題解決力 計画力 主体的に考える力 総合的に考える力
9-12 月	中間報告、省察 アクション2	他者と協働する力 コミュニケーション力
1-3 月	成果報告、省察 マイスピーチ	総合的に考える力 コミュニケーション力

<卒業年次> 「マイプロジェクト」の進路への接続 学びの総括

時 期	内 容	コンピテンシー
4-6 月	関心ある進路先の専門家、社会人と交流し、 進路実現に向けて必要な認識を深める。 マイスピーチ	興味関心力 課題解決力 計画力
7-10 月	関心ある進路先の専門家、社会人と交流し、 進路実現に向けて必要な認識を深める。	主体的に考える力 総合的に考える力
11-2 月	マイスピーチ（学びの総括）	他者と協働する力 コミュニケーション力

(6) 教科の枠を越えた探究型学習



●教科の枠を越えて結びつく探究的な力や思考スキル

科 目	探究との関連性	授業で扱う内容例
現代の 国語	単元	<u>聞き取りのレッスン</u> 大切なことを落とさずに聞き取り、自分の行動に生かすために聞き取りの練習に取り組む。
	コンピテンシー	<u>⑩情報収集分析力</u> 聞くべきことの要素に注意して聞く。必要に応じてメモを取るが、そのメモの取り方についても工夫する。
	思考スキル	<u>ダイヤモンドランキング</u> 聞き取りをする際、どのような項目について聞くことが適切か、また、メモを取る際、どのようにとったら効果的かについて考えて行う。
地理総合	単元	<u>地図やGIS（地理情報システム）の活用</u> GISの「地理院地図」を使って生活圏に関する地形的特徴や歴史的变化などを調査し、地理的な考え方や技能について学ぶ。
	コンピテンシー	<u>⑩情報収集分析力</u> フィールドワークやGISから得られる複数の地理情報について、どこに、何が、どのように広がるのかを地図を使って空間的に整理・分析し、その地域の特徴や課題について考察する。
	思考スキル	<u>マッピング</u> 地図を使って、得た地理情報を空間的に整理・分析するスキル。
歴史総合	単元	第二次世界大戦
	コンピテンシー	<u>④批判的思考</u> なぜ日本はアメリカ・イギリスと戦争をすることになったのか？ → 日本の軍国主義化には何があったのか、国際情勢や経済など複数の視点から捉える。
	思考スキル	<u>クラゲチャート</u> 日本が軍国主義に進んだ背景や、侵略行為に及んだ理由を整理・分析する。
数学 I	単元	定量データの分析
	コンピテンシー	<u>⑩情報収集分析力</u> 2つのデータにおいて度数分布表とヒストグラムを作成し、分析する。また、2つのデータの散布図を作成し、相関について分析する。
	思考スキル	<u>グラフ化</u> 統計的手法を用いて整理・分析する
生物基礎	単元	<u>踏み台昇降運動による心拍数の変化と呼吸数の変化を調べる。</u> 体外からの影響により、一時的に体内環境のバランスが崩れても、無意識のうちに調節され、体内環境が保たれる。運動の前後で、心拍数や呼吸数の変化を調べ、体内環境の調節のしくみについて考える。
	コンピテンシー	<u>⑩情報収集分析力</u> 観察実験を通して運動の前後で心拍数や呼吸数の変化を調べ、分析する。
	思考スキル	<u>観察・実験を通じた情報の図表化</u> 踏み台昇降運動の前後で、心拍数や呼吸数の変化を調べ、図表化する。（定量データ）

体育	単元	球技
	コンピテンシー	⑮責任性 チームプレイをより良くするには？→チームプレイの課題解決に対して、自分の役割を考えて行動する。
	思考スキル	<u>ブレインストーミング・ロジックツリー</u> ブレインストーミングで様々な観点からチームの課題解決のアイデアを求め、ロジックツリーを用いてアイデアを整理・分析し、実践する。
保健	単元	安全な社会生活
	コンピテンシー	⑨当事者意識 傷病者を発見した場合は、すぐに心肺蘇生法をおこなうことが必要である。訓練用人形を用いて実際に心肺蘇生法を行う。
	思考スキル	<u>シミュレーション</u> 訓練用人形を用いて実際の心肺蘇生法をおこない、技術を身に付ける。
書道 I	単元	<u>サンドブラスト (ガラス工芸)</u> ガラス素材で文字表現し、作品制作する。
	コンピテンシー	⑤創造力 文字は「好きな言葉」「詩」を選んだり、「自作の短歌・俳句・詩・言葉」を作ったりする。素材の余白にデザインを加えてポイントを作る工夫をしても面白い。
	思考スキル	<u>作品のイメージ</u> 素材がより活かせるよう、撰文や文字の配置、大きさを工夫する。作品の仕上がりイメージしながら構成を考え、図案を作っていく。
英語コミュニケーション I	単元	<u>説得力のある企画書を書く</u> ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考え、英語で新たなアイデアを提案する。
	コンピテンシー	⑫表現力 ロボットのアイデアについて考えをまとめ、企画のよさが通じるように説得力のある言葉や文章構成を考える。
	思考スキル	<u>マインドマッピング</u> ロボットが役に立つ場面についてマインドマップを使い課題を設定する。 <u>シミュレーション</u> ロボットの動作のシミュレーションをして、問題点を発見し、企画を展開させる。
情報 I	単元	<u>情報のデジタル化</u> 自分のスマートフォンの使い方を振り返り、次に購入する際に必要と思われる性能について考える。
	コンピテンシー	⑩情報収集分析力 スマートフォンのCPUやカメラ性能、バッテリー、記憶容量について、日常生活の中でどの程度使用しているのか、また重視しているのか整理・分析し、自分の求める端末を比較・考察する。
	思考スキル	<u>マトリックス図</u> 端末の特性を把握したり、選定方法を検討したりするときに活用する。